

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
単元株式数	100株
基準日	定時株主総会 毎年3月31日
	期末配当 毎年3月31日
	中間配当 毎年9月30日（中間配当を実施する場合）

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】
証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
事務取扱場所 （郵便物送付先）	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
（電話照会先） （インターネットホームページURL）	☎0120-176-417 http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

【特別口座について】
株券電子化前に「ほふり」（株式会社証券保管振替機構）を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座（特別口座といいます。）を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

公告方法	電子公告により、当社のホームページに掲載します。 URL http://www.mars-eng.co.jp/kessan/index.html ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載します。
上場証券取引所	東京証券取引所

株主様ご優待のご案内

3月31日現在、100株以上保有の株主様に下記のご優待をご用意しております。

●100株以上

QUOカード



●500株以上

3,000円相当の地方特産品
（カタログより選択）



●1,000株以上

5,000円相当の地方特産品
（カタログより選択）



●カタログに同封の専用ハガキにてお申込みください。

お申込み締切日 平成24年8月31日(当日消印有効)

●株主ご優待に関するお問い合わせ先(6月29日より開設)

株主様優待事務局 ☎0120-156-533

[マースジャーナル]
第38期 年次報告書
平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

Vol.12

MARS Journal



パーソナルPCシステム 1,000店舗導入達成!

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

当連結会計年度におけるパチンコ業界は、東日本大震災の影響で、電力不足や遊技ファン離れなど、深刻な問題に直面しましたが、業界全体で取り組みました節電は、前年比で大幅な電力削減を達成し、最悪期を乗り越えることができました。また、遊技機においては、パチスロ機を中心にヒット機種が台頭し、ホール設備の更新需要のけん引役となりました。

このような状況の中で、当社グループは「パーソナルPCシステム(以下、「パーソナル」という。)」を中心としたトータルシステムの提案・販売をしてまいりました。

ホール業務の省力化を図り、ホール経営をサポートするシステムを提供したいという確固たる信念で開発したパーソナルは、販売を開始した当初、玉積み・玉運び営業が常識だった業界内で、懐疑的な意見が多かったものの、平成18年3月に長崎県のホールに導入されて以来、徐々に市場から受け入れられ、今年の4月末でパーソナルの導入店舗が1,000店舗を超えました。これは偏に信念を貫き、パーソナルの機能性や利便性、将来的な拡張性を訴求し、ラインアップやサービス体制を充実させてきた結果であると自負しております。今後もパーソナルの業界標準化に向けて、市場シェアを伸ばしてまいります。

RFID事業においては、RFIDの実績を積み上げてきた(株)マーステクノサイエンスとバーコードで実績のある(株)東研が平成24年2月1日付で合併し、(株)マーストークンソリューションとして新たにスタートしました。両社の融合により相乗効果が生まれ、自動認識事業として、大きく飛躍することを期待しております。

ホテル関連事業においては、マースガーデンウッド御殿場の認知度の向上を図り、早期営業黒字化を目指してまいります。

株主の皆様には、今後とも格段のご理解とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



代表取締役社長 松波 明宏

当連結会計年度の業績

当連結会計年度の業績は、売上高298億8百万円(前期比11.6%増)、営業利益は52億33百万円(同6.0%減)、経常利益は52億90百万円(同7.1%減)、当期純利益は27億80百万円(同29.2%増)となりました。

なお、セグメント別の売上高及び営業損益については、セグメント間の取引を相殺消去しております。

[アミューズメント関連事業]

●プリペイドカードシステム

当社グループは少人数で効率的なホール運営ができる業界初のシステム「パーソナルPCシステム(以下、「パーソナル」という。)」を主軸システムとして、ラインアップの拡充と他のシステムと連動できる拡張性に重点を置き、拡販に努めてまいりました。

この結果、当連結会計年度のパーソナルの売上実績は173店舗、年度末時点における累計導入(実稼働)店は948店舗(市場シェア9.9%)となり、パーソナルを含めたサイクルカードシステムの売上実績は228店舗、導入(実稼働)店舗数は累計2,103店舗(市場シェア21.9%)となりました。

また、パチスロ機向けメダルサンドの販売台数の増加に加え、Air紙幣搬送システム「Hayate疾風」が前期を上回る販売実績を上げた結果、プリペイドカードシステムの個別売上高は127億73百万円となりました。

●景品管理システム

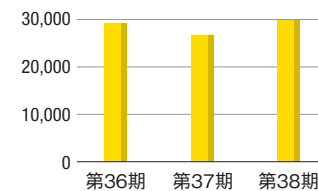
パイオニアとしての高いブランド力と市場シェアを活かした提案販売を行い、中でもメダル計数機の販売が好調に推移しました結果、景品管理システムの個別売上高は22億37百万円となりました。

●RFID

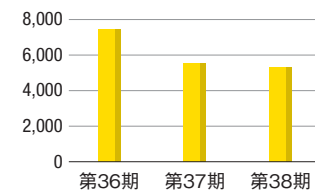
あらゆる分野の展示会への積極的な出展などを通じ新たな市場の模索に努める一方、子会社の(株)マーストークンソリューションが主体となり、健診・人間ドック向けデータ収集システム「健診ステーション」等の販売を行ってまいりました。この結果、RFIDの個別売上高は12億84百万円となりました。

その他品目の個別売上高を合計しました結果、アミューズメント関連事業の個別売上高は268億51百万円(前期比2.7%増)となり、営業利益は64億87百万円となりました。

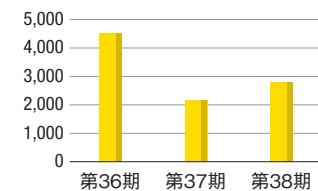
売上高(百万円)



経常利益(百万円)



当期純利益(百万円)



[ホテル関連事業]

ホテル経営を取り巻く環境は非常に厳しい状況となりましたが、ホテルサンルート博多は震災前と同様の水準に回復し、昨秋に開業1周年を迎えたマースガーデンウッド御殿場は、認知度とブランドの向上を通じて稼働率を上げる一方、販売チャネルの拡大を図ってまいりました結果、ホテル関連事業の個別売上高は8億20百万円(前期比50.5%増)となり、営業損失は4億94百万円(前期は5億61百万円の営業損失)となりました。

[その他]

平成23年9月1日付で、(株)東研を完全子会社化したことに伴い、売上高は21億36百万円、営業損失は7億58百万円となりました。

なお、平成24年2月1日付で(株)マーステクノサイエンスと(株)東研は合併し、(株)マーストークンソリューションとしてスタートいたしました。

次期の見通し

当社グループの主要販売先であるパチンコ業界は、パチスロ機の人気の復調の一方で、雇用情勢や個人消費の長期低迷などから、今後も厳しい環境が続くものと思われま。

このような状況の中で、当社グループは開発、製造、販売、メンテナンスを一貫体制で行い、一層のコスト削減に努めるとともに、顧客ニーズを先取りした製品の開発を積極的に進め、周辺設備への更新需要の掘り起こしを行ってまいります。

また、当社グループが提唱し、販売を進めてきましたパーソナルの業界標準化を目指してまいります。

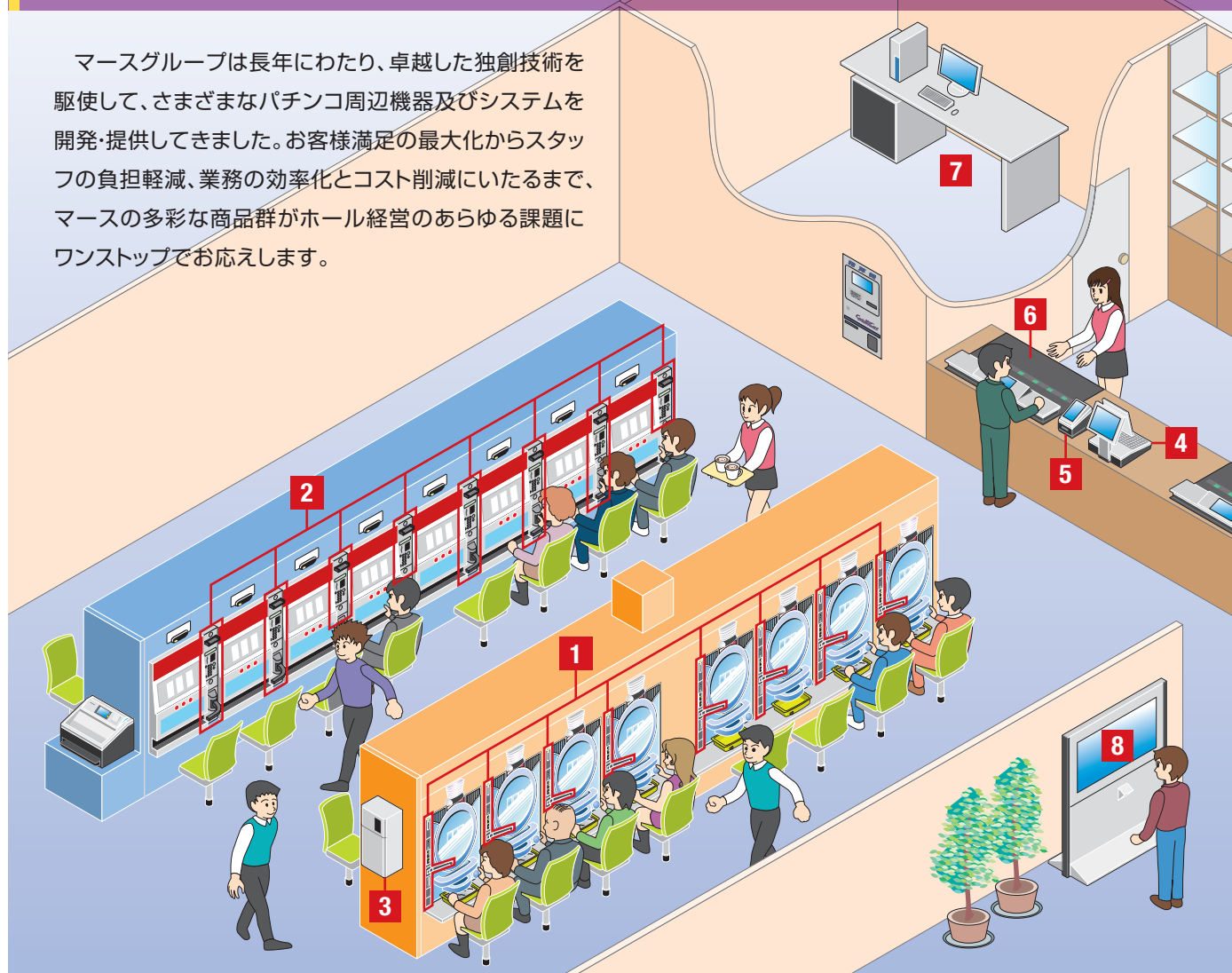
(株)マーストークンソリューションが担うRFIDでは、新製品の開発及び販売力の強化を図り、早い段階で合併による相乗効果を生み出すとともに、新規分野の開拓に努め、中核事業へと成長させてまいります。

ホテル関連事業におきましては、ホテルサンルート博多は質の高いサービスを維持し、マースガーデンウッド御殿場は認知度の向上を通じて早期営業黒字化を目指します。

以上により、次期の連結会計年度の業績は、売上高313億円(前期比5.0%増)、営業利益59億円(前期比12.7%増)、経常利益61億円(前期比15.3%増)、当期純利益38億50百万円(前期比38.5%増)を見込んでおります。

マースグループが支えるホール経営

マースグループは長年にわたり、卓越した独創技術を駆使して、さまざまなパチンコ周辺機器及びシステムを開発・提供してきました。お客様満足最大化からスタッフの負担軽減、業務の効率化とコスト削減にいたるまで、マースの多彩な商品群がホール経営のあらゆる課題にワンストップでお応えします。



1 パーソナルPCシステム(PERSONAL)

玉積み演出が主流となっているパチンコ業界において、従業員の玉運び・玉積み業務をなくし、少人数で効率的なホール運営ができるシステムです。計数機構は業界最高レベルで、顧客ニーズに併せて4タイプご用意しています。



2 メダル貸機

4金種の入金に対応。
テンキーを搭載したリサイクル型のサイクルICカード専用のメダル貸機です。



3 Air紙幣搬送システム「Hayate疾風」



空気の力で紙幣を運び世界初の技術を搭載したシステムです。搬送経路が自由にレイアウトできます。

4 景品POSシステム

ホール経営の効率化に必須の景品交換のPOSシステムです。セキュリティも格段に向上しています。



5 会員カードリーダー

一般客とリピーターの差別化を図るために必要な会員カードの発行、交換、照会ができます。



6 景品払出収納庫

業務の省力・合理化に対応し安心・安全を兼ね備えています。据置型と卓上型の2パターンがあります。



7 ホールコンピュータ

台管理から分析、販売計画の立案までを1台に統合しています。パーソナルPCシステムとの連動で高いセキュリティを構築できます。



8 データキャプテン

遊技客に公開する様々なデータをホールコンピュータから吸い上げ、加工・表示する多機能端末です。



パーソナルPCシステムが全国各地に続々と導入されています。

ABC磐田中泉店様

静岡県磐田市

静岡県を代表する優良企業の㈱ABC様は、静岡県を中心に40店舗を運営。まだ玉積み営業が一般的だった業界で早い時期から、初代パーソナルシステム(平成8年発売)を導入し、玉積み・玉運びをしないホール運営を採用されてきました。先見の明がある同社様は、パーソナルの導入メリットや運営ノウハウを熟知し、現在も最大限に活用されています。

昨年10月にグランドオープンのABC磐田中泉店様は、パーソナルの他、Air紙幣搬送や景品管理システム等のトータルシステムで導入され、お客様に質の高いエンターテインメントの提供を実現しています。



ABC磐田中泉店様のコメント

当社は「すべては『お客様の笑顔』、『社員の笑顔』、『お取引先・地域の笑顔』のために」を経営ビジョンに掲げ、社員によって創られたクレドを指針として、目標達成に向けて社員一人ひとりが行動しています。

パーソナルは、玉の移動や積上げがないため、社員にとって働きやすく、ゆとりを持ってお客様に接することができるので、他店にはないお客様が満足していただけるサービスを提供することができます。

お客様をはじめ、社員や関係者等、多くの人から笑顔を獲得し、地域No.1の稼働率の確立と更なる顧客満足度の向上を目指してまいります。



ジャンボG1店様のコメント

「明るく・元気よく」をモットーにしている当店は、親しみあるホールを目指して、スタッフ一同が力を合わせて日々頑張っています。

パーソナルシステムを全台に導入したことで、今まで以上のお客様サービスを提供してまいります。またこの度、お客様により快適にご利用いただけるよう、「サービスマイスター」を設置しました。お遣いから手荷物の預かり、遊技に関する質問は「サービスマイスター」にお任せください。

これからもお客様に喜んでいただける店舗づくりを目指し、全力で取り組んでまいります。

ジャンボG1店様

沖縄県浦添市

沖縄県で21店舗を運営する㈱サンシャイン様は、地域のファンに「サンシャイン」と「ジャンボ」の愛称で親しまれ、「楽しい時間と憩いの空間」を提供しています。また同社は、地域との共生を経営方針に掲げ、積極的に福祉活動やスポーツ振興活動等に取り組んでいます。

㈱サンシャイン様が運営しているジャンボG1店様では、リフレッシュルームや女性専用の休憩コーナーを店内に設置し、充実した憩いの空間を提供しています。

今回、パチンコ機全台にパーソナルPCシステムを採用したことで、快適な遊技空間の実現に一役買っています。

TOPICS 1 業界初!「真贋判定機能搭載メダル計数機」を発売



平成24年2月、業界で初めてメダルの真贋判定機能を搭載し、安全・安心のロットコーナー創りをサポートする「メダル計数機m2200」を発売しました。

マース独自の機構(トリプルチェック)で瞬時にメダルを判定し、他店からの持ち込みメダルや偽メダルを排除。ロットコーナーのセキュリティを飛躍的に向上させます。

また、内蔵する5台の計数ユニットが真贋判別をしながらの高速計数を実現。操作性の高い7インチワイドタッチパネル液晶とともに、お客様の利便性向上とフロア業務のさらなる効率化に寄与します。計数時の画像を記録する内蔵カメラもオプションで装着することができます。

TOPICS 2 さらにホール経営の効率化へ向けた「マース総合管理システム」デビュー

景品管理・会員管理・ホールコンピュータを完全融合した「マース総合管理システム」を平成24年4月にリリースしました。

これまで動向把握が困難であった一見客も含め、お客様すべての遊技データを収集・管理。業界で初めて導入した独自の「PL指標」でデータを分析することにより、ニーズに合ったホール創りと経営の効率化を支援します。

また、パーソナルPCシステムのほか、サイクルICカードシステム、Air紙幣搬送システムと組み合わせることで、顧客創造型システムとしての高度化を図り、革新的なホール経営の実現に役立てていただくことが可能です。



「株式会社マーストーケンソリューション」誕生!

平成24年2月1日、子会社の株式会社マーステクノサイエンス(以下「旧MTS」)と株式会社東研(以下「東研」)が合併し、株式会社マーストークンソリューションとして新たな第一歩を踏み出しました。

マーステクノサイエンスはこれまで、マースグループが次代の収益の柱と位置づけているRFID事業を牽引し、医療分野をはじめ、さまざまな業界で実績を積み重ねてきました。一方、東研は、企業経営の効率化・合理化を図るための自動認識システムで市場の高い評価を獲得してきました。

両社の合併により誕生した新会社は、互いの経営資源の統合によってシナジーの早期創出に努めると同時に、自動認識技術の総合メーカーとして新たな価値創造に取り組んでまいります。



MTS
MARS TOHKEN SOLUTION

新会社のロゴについて

旧MTSと旧東研、それぞれのポテンシャル
同士が巴となって、世界を相手に無限のソ
リューションを生み続ける。
ロゴのキャッチーなSの字にはそのような想
いが込められています。

新会社DATA

商 号

株式会社マーストーケンソリューション

事業拠点

- 本社（東京）
- 大阪営業所
- 名古屋営業所
- 福岡営業所
- 日立営業所
- テクニカルセンター（調布）
- 製造工場（諏訪）
- 上海事務所
- タイ事務所

資本金

5億円

役員構成

- | | | |
|---------|----|----|
| 取締役会長 | 春山 | 安成 |
| 代表取締役社長 | 村上 | 浩 |
| 取締役 | 高橋 | 司 |
| 取締役 | 小平 | 尚 |
| 取締役 | 大類 | 隆義 |
| 取締役 | 古宮 | 重雄 |
| 常勤監査役 | 岡田 | 璋司 |
| 監査役 | 佐藤 | 敏昭 |

③ 株式会社マースウインテック※7月1日より
(旧商号:株式会社ウインテック)

電子機器及び情報機器の設計・製造・販売、並びにメカトロニクス関連の技術指導。自社開発製品は、紙幣識別機、カードリーダー、自動販売機、カードプリンタなど。

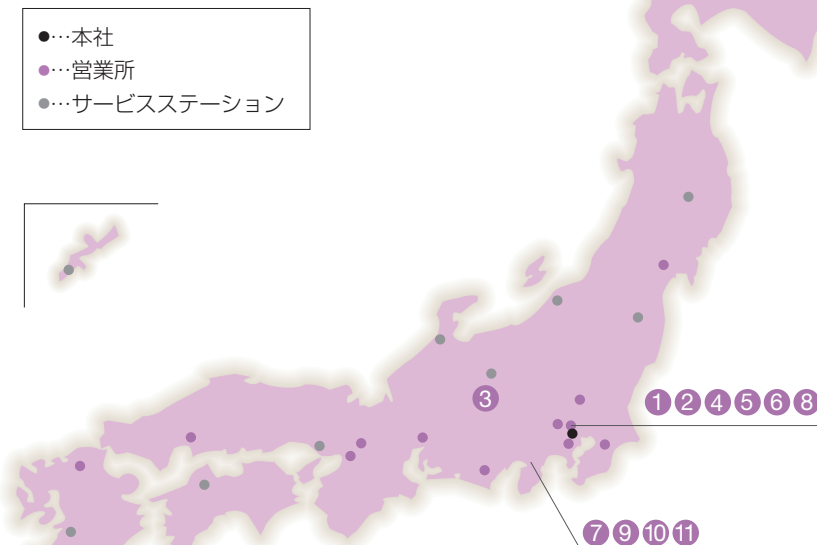
6 株式会社マースフロンティア

コンピュータ関連用品、電子機器等の企画及び販売。

MARS Network [グループ会社／事業所一覧]

- **本社**
東京都新宿区新宿1-10-7
- **札幌営業所**
札幌市白石区南郷通8丁目北2-25
第3タチカビル
- **仙台営業所**
仙台市青葉区大町1-3-7 横山ビル
- **大宮営業所**
さいたま市中央区新中里5-11-6
- **千葉営業所**
千葉市稲毛区小仲台2-3-12
こみなと稲毛ビル
- **東京営業所**
東京都新宿区新宿1-11-16
サンサーラ第五御苑ビル
- **西東京営業所**
東京都府中市栄町3-1-1
- **横浜営業所**
横浜市保土ヶ谷区神戸町134
YBPウエストタワー
- **静岡営業所**
静岡市葵区黒金町59-7
ニッセイ静岡駅前ビル
- **名古屋営業所**
名古屋市中区大須1-35-18 一光大須ビル
- **京都営業所**
京都市中京区丸九通御池下ル
虎屋町577-2 太陽生命御池ビル
- **大阪営業所**
大阪市西区新町1-13-3 四ツ橋KFビル
- **広島営業所**
広島市中区大手町2-8-5
大手町センタービル
- **福岡営業所**
福岡市博多区博多駅東3-11-28
博多サンシティビルⅡ
- **鹿児島営業所**
鹿児島市西千石町17-3
太陽生命鹿児島第二ビル
- **北見サービスステーション**
北見市高栄東町1-11-37
- **盛岡サービスステーション**
盛岡市東新庄1-27-1

- **郡山サービスステーション**
郡山市桑野2-2-16 藤尾ビル
- **松本サービスステーション**
松本市島立302-5
- **新潟サービスステーション**
新潟市中央区出区島1-2-12
DNビル
- **金沢サービスステーション**
金沢市鞍月5-181
- **兵庫サービスステーション**
神戸市中央区東川崎町1-3-3
- **松山サービスステーション**
松山市空港通1-3-16 土居田OKビル
- **熊本サービスステーション**
熊本市水前寺1-20-22 水前寺センタービル
- **沖縄サービスステーション**
浦添市伊祖1-1-21



グループ会社／主要事業所

- ① 株式会社マースコーポレーション
東京都府中市米町3-1-1
- ② 株式会社マーストークンソリューション
東京都新宿区新宿1-8-5
新宿御苑室町ビル
- ③ 株式会社マースウインテック
長野県埴科郡坂城町中之条1375-1
- ④ 株式会社マースネットワークス
東京都新宿区新宿1-10-7
- ⑤ 株式会社マースプランニング
東京都新宿区新宿1-10-7
- ⑥ 株式会社マースフロンティア
東京都新宿区新宿1-10-7
- ⑦ 裾野技術センター
静岡県裾野市伊豆島田818-8
- ⑧ 東京技術センター
東京都新宿区新宿1-2-7
新宿東共同ビル
- ⑨ 東富士工場
静岡県御殿場市柴怒田961-45
- ⑩ テクノ流通センター
静岡県御殿場市東田中2-22-25
- ⑪ パーツセンター
静岡県三島市南町8-5

Consolidated Financial Statements [連結財務諸表]

連結貸借対照表(要旨)

(単位:千円)		
科 目	当連結 会計年度末 平成24年 3月31日現在	前連結 会計年度末 平成23年 3月31日現在
資産の部		
流動資産	38,009,971	36,205,889
固定資産	20,021,043	20,621,834
有形固定資産	14,891,893	14,285,067
無形固定資産	345,601	216,909
投資その他の資産	4,783,548	6,119,856
資産合計	58,031,015	56,827,724
負債の部		
流動負債	10,901,557	11,440,811
固定負債	5,083,303	5,769,695
負債合計	15,984,860	17,210,506
純資産の部		
株主資本	42,416,299	39,890,979
その他の包括利益累計額	△370,144	△273,762
純資産合計	42,046,155	39,617,217
負債純資産合計	58,031,015	56,827,724

連結損益計算書(要旨)

(単位:千円)		
科 目	当連結 会計年度 (平成23年4月 1 日から 平成24年3月31日まで)	前連結 会計年度 (平成22年4月 1 日から 平成23年3月31日まで)
売上高	29,808,241	26,700,312
売上原価	15,429,298	13,259,311
売上総利益	14,378,943	13,441,001
販売費及び一般管理費	9,145,105	7,871,458
営業利益	5,233,837	5,569,542
営業外収益	287,221	157,828
営業外費用	230,799	32,329
経常利益	5,290,259	5,695,041
特別利益	340,185	145,831
特別損失	849,254	1,257,897
税金等調整前当期純利益	4,781,191	4,582,974
法人税、住民税及び事業税	2,297,268	2,386,880
法人税等調整額	△296,385	44,326
少数株主損益調整前当期純利益	2,780,308	2,151,768
当期純利益	2,780,308	2,151,768

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:千円)		
科 目	当連結 会計年度 (平成23年4月 1 日から 平成24年3月31日まで)	前連結 会計年度 (平成22年4月 1 日から 平成23年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,324,137	3,154,721
投資活動によるキャッシュ・フロー	512,887	△3,786,809
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,629,083	△1,105,668
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,392	△2,380
現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	3,209,334	△1,740,137
現金及び現金同等物の期首残高	12,747,852	14,487,990
現金及び現金同等物の期末残高	15,957,187	12,747,852

連結株主資本等変動計算書(要旨)

当連結会計年度(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで) (単位:千円)					
	株 主 資 本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成23年4月1日 残高	7,934,100	8,371,830	32,846,579	△9,261,529	39,890,979
連結会計年度中の変動額					
剰余金の配当			△1,029,623		△1,029,623
当期純利益			2,780,308		2,780,308
自己株式の取得				△144	△144
自己株式の処分		△532,811		1,307,591	774,779
自己株式処分差損の振替		532,811	△532,811		—
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)					
連結会計年度中の変動額合計	—	—	1,217,872	1,307,447	2,525,320
平成24年3月31日 残高	7,934,100	8,371,830	34,064,452	△7,954,082	42,416,299

	そ の 他 の 包 括 利 益 累 計 額			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	その他の包括利益 累計額合計	
平成23年4月1日 残高	△280,901	7,139	△273,762	39,617,217
連結会計年度中の変動額				
剰余金の配当				△1,029,623
当期純利益				2,780,308
自己株式の取得				△144
自己株式の処分				774,779
自己株式処分差損の振替				—
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)	△89,243	△7,139	△96,382	△96,382
連結会計年度中の変動額合計	△89,243	△7,139	△96,382	2,428,937
平成24年3月31日 残高	△370,144	—	△370,144	42,046,155

(注)繰延ヘッジ損益は、関係会社である昭和情報機器株式会社に対し、持分法を適用した結果、発生した項目であります。

Non-consolidated Financial Statements [単体財務諸表]

単体貸借対照表(要旨)

科 目	(単位:千円)	
	当事業年度末 平成24年 3月31日現在	前事業年度末 平成23年 3月31日現在
資産の部		
流動資産	19,440,061	15,329,128
固定資産	14,984,524	15,253,823
有形固定資産	3,650,037	3,783,909
無形固定資産	108,356	128,063
投資その他の資産	11,226,130	11,341,850
資産合計	34,424,585	30,582,951
負債の部		
流動負債	3,769,117	3,384,330
固定負債	673,247	589,781
負債合計	4,442,365	3,974,112
純資産の部		
株主資本	30,330,183	26,843,443
評価・換算差額等	△347,962	△234,603
純資産合計	29,982,220	26,608,839
負債純資産合計	34,424,585	30,582,951

単体損益計算書(要旨)

科 目	(単位:千円)	
	当事業年度 (平成23年4月 1 日から 平成24年3月31日まで)	前事業年度 (平成22年4月 1 日から 平成23年3月31日まで)
売上高	21,166,045	19,779,066
売上原価	11,484,601	10,989,231
売上総利益	9,681,444	8,789,835
販売費及び一般管理費	6,446,971	6,549,852
営業利益	3,234,472	2,239,983
営業外収益	1,613,055	1,298,799
営業外費用	426	2,299
経常利益	4,847,101	3,536,483
特別利益	154,129	74,915
特別損失	—	1,076,075
税引前当期純利益	5,001,231	2,535,323
法人税、住民税及び事業税	1,322,578	817,584
法人税等調整額	△63,075	352,551
当期純利益	3,741,727	1,365,187

単体株主資本等変動計算書(要旨)

当事業年度(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)
 (単位:千円)

	株 主 資 本									
	資本金	資本剰余金			利益準備金	利益剰余金			自己株式	株主資本合計
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計		別途積立金	繰越利益剰余金	利益剰余金合計		
平成23年4月1日 残高	7,934,100	8,371,830	—	8,371,830	372,109	4,600,000	14,826,933	19,799,042	△9,261,529	26,843,443
事業年度中の変動額										
剰余金の配当							△1,029,623	△1,029,623		△1,029,623
当期純利益							3,741,727	3,741,727		3,741,727
自己株式の取得									△144	△144
自己株式の処分			△532,811	△532,811					1,307,591	774,779
自己株式処分差損の振替			532,811	532,811			△532,811	△532,811		—
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)										
事業年度中の変動額合計	—	—	—	—	—	—	2,179,292	2,179,292	1,307,447	3,486,740
平成24年3月31日 残高	7,934,100	8,371,830	—	8,371,830	372,109	4,600,000	17,006,226	21,978,335	△7,954,082	30,330,183

	評 価 ・ 換 算 差 額 等		純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
平成23年4月1日 残高	△234,603	△234,603	26,608,839
事業年度中の変動額			
剰余金の配当			△1,029,623
当期純利益			3,741,727
自己株式の取得			△144
自己株式の処分			774,779
自己株式処分差損の振替			—
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)	△113,359	△113,359	△113,359
事業年度中の変動額合計	△113,359	△113,359	3,373,380
平成24年3月31日 残高	△347,962	△347,962	29,982,220

当社ホームページのご案内

当社ホームページにて、決算短信などの財務情報のほか、各種IR資料、株式情報、株主優待のご案内なども掲載しています。
どうぞお気軽にアクセスしてみてください。



URL: <http://www.mars-eng.co.jp>

Shareholder & Corporate Information

【株式及び会社情報】（平成24年3月31日現在）

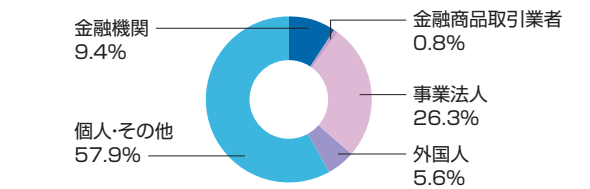
株式の状況

発行株式数及び株主数	
発行可能株式総数	6,762万株
発行済株式の総数	2,272万株
株主数	11,095名

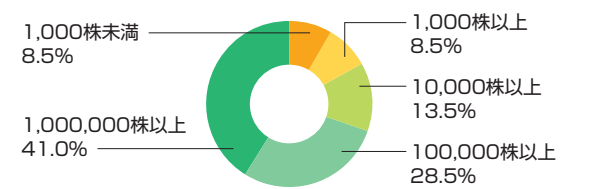
大株主の状況

株主名	持株数(千株)	議決権比率(%)
(株)イー・エムプランニング	5,643	29.63
松波廣和	680	3.57
松波香代子	680	3.57
松波明宏	680	3.37
みずほ信託銀行(株) 退職給付信託 東京都民銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行(株)	663	3.48
古宮重雄	490	2.57
五味輝雄	450	2.36
永井美香	432	2.27
大矢俊寿	388	2.04
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND	350	1.84

所有者別分布状況



所有株数別分布状況



会社概要

商号	株式会社マースエンジニアリング (Mars Engineering Corporation)
本社所在地	東京都新宿区新宿一丁目10番7号
設立年月日	昭和49年9月13日
会社の目的	1. 各種電子機器の設計・試作並びに製造販売 2. ソフトウェアの開発 3. 電子機器の開発、企画並びに販売 4. ホテルの経営 5. 不動産の賃貸業 6. 建築工事の企画、設計並びにコンサルティング業務 7. 損害保険代理店業 8. 前各号に付帯する一切の業務
資本金	7,934,100,000円
就業者数	474名(男432名、女42名)

役員（平成24年6月28日現在）

代表取締役会長	古宮重雄
代表取締役社長	松波明宏
取締役相談役	松波廣和
取締役	村上浩
取締役	秋山裕和
取締役	佐藤敏昭
常勤監査役	渡邊廣美
社外監査役	小林郁夫
社外監査役	中村勝典

執行役員（平成24年7月1日予定）

常務執行役員営業本部長	秋山裕和
常務執行役員管理本部長	佐藤敏昭
常務執行役員技術開発部長	井出平三郎
執行役員品質保証部長	名取満郎
執行役員営業本部副本部長	秋山学
執行役員総務部長	高橋丈治

MARS History 12

止まらない快進撃。そして新たなステージへ。

パーソナル、ついに業界標準へ！
事業の規模と分野を拡大し、
さらなる可能性へ向けて挑戦！！

平成18年にマースが満を持して世に送り出した新「パーソナルPCシステム」は業界に一大センセーションを巻き起こしました。ホール経営者、ホールの従業員、お客様の誰もがWin-Winの恩恵にあずかれる革新的な仕組みを兼ね備えていたからです。しかし、当初導入した店舗数はなかなか思うように伸びませんでした。これは「PERSONAL I」に大掛かりな島工事が必要であったことと、業界内に「玉積みを必要としないホール」への根強い違和感があったからでした。

「なんととしてでも、パーソナルを業界へ浸透させる」。この強い思いのもとに、マースはグループの力を総結集し、営業活動ときめの細かいサービスを展開し、粘り強く業界へ働きかけていきます。また一方で、2年後の平成20年には島工事が不要な「PERSONAL II」「PERSONAL Ⅲ」を相次いでリリース。更に、空気の流れで紙幣を運ぶ世界初の技術を駆使した「Air紙幣搬送システム」も発売しました。

マースの提案したこの新しい遊技スタイルは、瞬間に遊技客の間にも認識が広まり、パーソナルPCシステムの導入店舗数は飛躍的に増え、業界標準へ着々と地歩を固めていったのです。

しかし、マースはこの快進撃と同時進行で、全く別の戦略を

進めていました。パチンコ関連製品・サービスのノウハウを活用して、電波により固体識別を行うRFIDの分野でも健康診断支援システム「検診ステーション」をリリースするなど、新たな事業の柱の確立に向けて動いていたのです。更に、平成19年の漢字情報処理システムを手掛ける昭和情報機器株式会社、平成21年の自動認識システムに強みを持つ株式会社東研との業務及び資本提携によって、経営基盤の安定化と業容の拡大を図りました。こうした果敢な取り組みが奏功し、売上高・利益ともに順調に推移。世界金融危機もマースの歩みを止めることはできませんでした。

昭和49年、4人の男たちが知恵と技術を持ち寄って誕生したマースは、幾多の試練を経ながらも常に「開発者魂」を忘れることなく前進を続けてきました。そして、いまやアミューズメント業界で、そして自動認識の世界でマースの名は確かなブランドとなってその存在感を際立たせています。しかし、マースの物語はこれで終わったわけではありません。卓越した技術力で人々の暮らしに貢献するために、次なる可能性に向かって新たな歴史を刻み始めています。

マースの挑戦はまだ始まったばかりです。



新宿区の本社ビル。この新宿の地に知恵と技術を持ち寄って誕生してから約40年。いまや業界に確かなブランドを築いたマースは、さらなる挑戦を続けています。

MARS Historyは今回で最後となります。今まで長い間ありがとうございました！
次回から新しいコーナーが始まります。どうぞご期待ください！！